

事務事業名		大船渡魚市場整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 平成11年度～平成26年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興			
	基本事業名	05 水産物の流通加工体制の強化			
根拠法令				予算科目 会計 12 款 01 項 01 目 01 事業	
所属	部署名	農林水産部 大船渡魚市場建設推進室			
		電話	27-3111		
		内線	372		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 老朽化した大船渡魚市場を高度な衛生管理に対応した施設として整備する。また、魚市場施設内に市民や観光客向けの活性化施設(展示施設、飲食施設等)を併設し、地域活性化に資する。 県事業として埋め立て工事を行った現魚市場北側の公有水面約2haの埋立地に、平成20年度より、県と市による共同工事として、人工地盤整備と魚市場施設整備を施工中。 平成16年度 魚市場施設の基本設計業務委託 平成17年度 展示施設の基本設計業務委託 平成18年度～19年度 実施設計業務(魚市場施設及び展示施設)委託 平成20年度～22年度 建設工事 平成23年3月11日 被災により工事中止 平成24年6月26日 工事中止解除 平成26年4月 第1期開場予定、平成27年4月 第2期開場予定 事業費は、設計委託、工事請負費等に支出される。				全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 2,326,098 都道府県支出金 1,727,321 地方債 2,430,000 その他 一般財源 122,519 事業費計(A) 6,605,938 人件費 正規職員従事人数 4 延べ業務時間 30,000 人件費計(B) 120,000 トータルコスト(A)+(B) 6,725,938	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・県、国への補助金申請事務 ・建築工事、電気設備工事、給排水・空調設備工事の被害状況確認、被害額算定、手戻り復旧工事設計業務 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・手戻り復旧工事の実施、建築・電気設備・空調設備工事の再開、製氷施設工事の実施、工事進捗に向けての協議及び連絡調整 ② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・大船渡魚市場 ・漁業者、買受人、市場職員 ・一般市民、観光客 ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・高度な衛生管理に対応した施設になる。 ・新たな活性化施設になる。 ④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安定して高く売れる。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 設計協議の回数 回 イ 工事日数 日 ウ 魚市場整備の進捗率(事業費ベース) % ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 大船渡魚市場の面積(整備前) m ² キ ク ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 大船渡魚市場の面積(整備後) m ² シ 衛生管理市場認定件数 件 ス 活性化施設面積 m ²

(2) 総事業費・指標等の推移									
投入量 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) トータルコスト(A)+(B)	年度	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)		
	単位	千円	66,174	250,000	788,823	343,000	0	0	
		千円	1,191,493	285,200	649,280	0	0	0	
		千円	9,800	571,800	1,169,500	343,000	0	0	
		千円	4,186	20,651	1,454	14,000	0	0	
		千円	1,541,801	0	0	0	0	0	
		千円	2,813,454	1,127,651	2,609,057	700,000	0	0	
		人	4	4	4	4	0	0	
		時間	2,500	4,000	6,000	6,000	0	0	
		千円	10,000	16,000	24,000	24,000	0	0	
		千円	2,823,454	1,143,651	2,633,057	724,000	0	0	
	⑤活動指標	ア	回	30	50	50	50	0	0
		イ	日	0	230	300	300	0	0
		ウ	%	43	59	97	100		
⑥対象指標	カ	m ²	9,229	9,229	9,229	9,229	9,229	9,229	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	m ²	17,004	17,004	17,004	17,004	17,004	17,004	
	シ	件	0	0	0	1	1	1	
	ス	m ²	0	0	0	1,235	1,235	1,235	

事務事業ID	0584	事務事業名	大船渡魚市場整備事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	老朽化した大船渡魚市場を整備するため、平成11年度に整備構想検討委員会を設置して、整備構想・計画づくりに着手した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	魚市場の老朽化が進んでいる。また、産地市場における衛生管理や鮮度管理は、一層の充実が求められている。 東日本大震災により建設中の新魚市場施設が被災し、手戻り復旧工事が必用となり、事業費が増加し、完成時期も遅れる見込みとなっている。また、現魚市場も被災したが、新魚市場整備後は取り壊しする予定であることから応急的な復旧工事を先行し営業している状況にあり、早期の整備完了が求められている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	早急な整備とあわせ、関係者の使いやすい施設整備を要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 新魚市場は水産業振興の中核となる施設であり、その整備充実は水揚量の増加に直接結びつくものである。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市が設置する公の施設であるため。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 公共施設の整備であり、対象・意図とも適正である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 建設工事の完了により成果が出るものであり、早期完成により早期に成果が得られるが、現実的に工期の短縮は厳しい状況にある。また、整備する施設の内容は既に関係者の協議を経て決定済みのものであり、これ以上の内容の充実が難しい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 整備途中の公共施設整備であり、現施設の老朽化の問題からも廃止・休止はできない
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒ 公共施設の整備であり、他に方法はない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 設計基準に基づき積算された事業費であり、大幅な事業費削減の余地は無い。 なお、震災の影響に伴い、事業内容の見直し等が必要な部分については、可能な限り国の支援制度を活用することとした。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 当初の事務事業量に加え、被災による手戻り復旧工事及び関連施設整備工事が施工されるため、これまで以上の職員体制が確保されなければ、事業実施は困難な状況である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市の社会資本整備であり、公平・公正である。

事務事業ID	0584	事務事業名	大船渡魚市場整備事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>平成20～22年度は、建築工事の基礎工事部分での遅れにより、全体的な工程の遅れが生じた中で平成23年9月の完成を目指していたが、東日本大震災で被災し、当初計画より大幅な遅れが見込まれている。今後の工事工程は、現時点での見込みで平成26年度末の第1期工事完成となり、その後第2期工事に着手することとなるが、可能な限り早期完成を目指して事業の進捗管理に努めていきたい。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>建築工事の基礎工事部分での遅れにより、全体的な工程の遅れが生じたところに、被災により完成がさらに遅れることとなるが、最短期間での完成を目指し工事を再開したところである。被災に伴う手戻り復旧工事が必要となり、その分のコストが増加することとなったが、完成後に不具合を生じさせないための必要額である。他の関連事業に復興交付金を活用するなど、事業費全体の中でコスト縮減に努めていく。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>特になし。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水産課	
-------	-----	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>水産物流通拠点の整備事業であり、早期完成に向けて業務を進める</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>東日本大震災で被災し、完成がさらに遅れることとなるが、被災状況を十分に検証し、完成後に不具合が生じないようにすることが重要である。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 政策推進会議等での指摘事項</p>
